



## 半減期より一桁減期を

除染した土は・・・

福島原発で汚染した家庭や校庭の表土を「除染」して、庭の片隅に埋めている。ある程度土をかぶせれば、セシウム137が崩壊した時に出るベータ線とガンマ線を防ぐことができる。

何年くらい埋めておけば良いのだろうか？福島原発からはセシウム134と137が同じ位、放出された。セシウム134の半減期は2年。セシウム137の半減期は30.1年。セシウム

134は急速に減るので、セシウム137について考えてみよう。

半分に減るのが半減期

セシウム137の半減期は30.1年。つまり、30年で半分、60年で1/4、更に90年で1/8・・・となる。

一桁減するには

減ったと実感できるのは一桁減ったときだ。計算すると半減

期の3.3倍で一桁減る。

つまり、庭に埋めた汚染土は30.1x3.3=100年経ってようやく今の1/10になり、200年で1/100になる。

セシウムで汚染された土を埋めたら200年間掘り返すなどというしっかりした墓標を建てなければならない。

その意味でも半分に減る半減期ではなく、一桁減る「一桁減期」で放射能を表示したらどうだろう。

皆さんはどう思われますか？



ベラスケスのバルコニー

(サンチャゴ・デ・キューバ)

サンチャゴ・デ・キューバはキューバ第二の都市。キューバの南東にある港町だ。

一四九二年、コロンブスがアメリカに到達。そして、一五一年にキューバを征服して初代総督となったのがデイエゴ・ベラスケス・デ・クエリヤル。十七世紀のスペイン絵画の巨匠と区別して、出身地のクエリヤルを付けて呼ぶ。その名がこのバルコニーの名の由来。

このバルコニーから港に出入りする船がよく見える。船がキューバに寄ると、その後、60日間アメリカに入港拒否される。その為か、寄る船は多くない。

そんな港の歴史やアメリカとの関係を学ぶのだろうか、先生に引率された中学生が見学に訪れていた。